

国登録有形文化財

# 紫雲閣



美しい彫刻の中で響く  
— 中国古来の音色 —



## 餘音繞梁

— 桜と紫雲閣と七絃琴 —



### 4月6日・7日・8日 (土・日・月)

『紫雲閣』は、明治時代に吉田家住宅（文化伝承館）の御当主が、自らの趣味の為に贅をつし作り上げた建物です。謡（うたい）が響くよう総漆塗りに仕立てた龍の舞う部屋で、今回は中国伝来の「七絃琴」の演奏を行います。

10:30～11:30、13:30～14:30

紫雲閣2階 漆の間

※入館料 200 円がかかります。



奏者 飛田立史（ひだたつし）氏

福島県郡山市生まれ。県立安積高等学校卒業後、1979年日中友好協会派遣により渡中。  
1981年北京語言学院修了。1986年北京大學歴史系卒業。  
大学在学中より中国芸術研究院音楽研究所の王迪女史に古琴を師事、「琴聖」と称えられた管平湖の琴統を学ぶ。  
1986年から1988年、中国政府奨学金を受け上海音楽学院音楽研究所に留学、林友仁教授に師事する。  
飛田氏の演奏、精神は伝統的弾琴法を尊ぶ中国人老古琴家からも喜ばれており、日本史上においても現れては消えていった数少ない「古琴を嗜むもの」一琴人一のひとりである。